

緊急安全統括管理者会議 議事概要

令和6年9月30日（月） 16：00～17：00

於：中央合同庁舎3号館 10階共用会議室

（WEB併用開催）

○鉄道局長冒頭発言

- ・利用者からの信頼を裏切る事案が数多く判明しており、憂慮に堪えない。
- ・いわゆる改ざんなどの不正行為は、安全確保の仕組みを根底から覆すものであり、鉄道行政を預かる立場として、心からの危機感を抱いている。
- ・本日の会合の第一の趣旨は、この危機感を共有していただきたい、というものである。
- ・鉄道輸送の安全確保の同志である全国の安全統括管理者が、トラブルの概要、その原因分析、そして再発防止策などについて情報共有し、他社でのトラブルを「他山の石」として、自社でのトラブル防止に活用いただく、ということが第二の趣旨である。
- ・第三の趣旨は、今回の一連のトラブルを踏まえて、「本社と現場」、「親会社と子会社」、「自社と協力会社」、それぞれの関係性を再点検していただく契機としていただきたい、ということである。

○鉄道局 資料に基づく説明

○各鉄軌道事業者 資料に基づく説明

○各鉄軌道事業者からの主な意見

- ・輪軸の安全性を検証する会議を通じ、より深い知見が出れば、鉄軌道事業者にとって適切な輪軸の管理につながる。
- ・JISの圧入の値だけでなく、全体で見たときにこれで安全だという判断として出していただけるとありがたい。
- ・最新の知見の中で必要十分な管理方法が見つかれば、作業を行う側も基準への理解が進み、不正の防止につながる。
- ・知見のある方から様々な観点で議論いただきたい。

○大臣訓示（別紙）

以上

緊急安全統括管理者会議 大臣訓示

- 鉄道の安全をめぐる様々な問題が発生していることに鑑み、改めて鉄道輸送の安全確保を徹底していただきたく、全国の安全統括管理者の皆様にお集まりいただいた。
- 安全確保は、鉄道輸送における最も基本的、かつ、最も重要な使命であり、全てに勝る最優先事項である。
- ところが、本年9月、JR 貨物において車両の輪軸組立時の不正行為が明らかになったことに端を発し、緊急点検を進める中で、JR 東日本や東京メトロ、京王電鉄、東急電鉄などにおいても、輪軸の組立時に不正行為があったことが立て続けに明らかとなった。
- このような、記録を書き換えるといった不正行為は、鉄道輸送の安全確保の仕組みを根底から覆すものであり、極めて遺憾。
- また、7月以降、東海道新幹線や山陽新幹線において、保守用車両のトラブルによって運転見合わせが生じたほか、今月は、東北新幹線において、走行中の連結部が分離する事案が発生するなど、鉄道輸送において、国民生活に多大な影響を与え、関心を集める事案が続いていることを、大変重く受け止めている。
- 安全統括管理者である皆様は、輸送の安全確保における枢要な地位にいるということを改めて自覚していただき、現場をはじめとした組織内の安全に対する意識醸成はもとより、現場と本社との連携を確保することなどに取り組んでいただきたい。
- 皆様におかれては、本日の会議で共有された内容をしっかりと受け止めていただき、鉄道の安全について考え、見つめ直された上で、引き続き安全確保の先頭に立っていただきたい。